



◎第2特集 私の選択 遠野で働き、暮らす

人口減少と人手不足は産業や地域の活力を衰退させる恐れがある重要な課題。本特集では、遠野で働き、暮らすことを選んだ若者に本市での生活について聞きました。会話のなかに、活力あふれる未来をつくるためのヒントが含まれているかもしれません。

【利便性増す交通網】

豊かな自然環境や文化が息づく遠野。古くは、遠野南部家1万2千5百石の城下町で、内陸と沿岸を結ぶ宿場町として栄えました。平成30年11月、遠野・宮古両市民の長年の願いだった「一般国道340号立丸峠工区」が完成。さらに平成31年3月には、東北横断自動車道釜石秋田線の「遠野―遠野住田間」が供用開始され、同自動車道は全線開通を迎えました。道路交通網が整備されたことで、内陸と沿岸へのアクセス環境は利便性を増し、人やモノが行き交い、経済の活性化が期待されています。

【人材確保という課題】

利便性が増した交通網を生かした企業の動きも見られます。本年6月、自動車用補修ゴム製品の国内トップシェアを誇る大野ゴム工業(東京都)と同ゴム工業製品の管理・輸出を担う株式会社ビッグフィールド(同)が本市と事業所立地協定を締結。本市にビッグフィールドの本社を移し、釜石港を活用した同社製品の輸出などを展開する予定です。さらに同ゴム工業は、遠野工場での製品増

産も検討。3者が連携して新たな雇用創出や地域経済活性化を目指しています。他にも、本市には全国に誇る高い技術を持つ企業が立地。事業拡大に向け設備投資を進める企業もあります。東北有数のホップ産業や先人が守り育ててきた農林業など、キラリと光る技や伝統もあります。産業と地域を発展させ、次世代に守り伝えていくには、それぞれの立場で役割を担う人材が欠かせません。

【働き、暮らす場所】

学生が就職先に求めるアンケートの上位に▽給与▽やりがい▽休暇と答えた結果があります。本市にもさまざまな魅力がありますが、同様に他市町村にも多くの魅力があります。では、市内で働き、暮らす人はどんな思いを持ちながら生活しているのでしょうか。市外で暮らした経験を持ち、現在、市内で就業し生活する3人の女性の声をご紹介します。

◎Profile ①名前②居所③勤め先④仕事内容⑤主な経歴

- ①菊池 華恵さん(左)
- ②上組町
- ③萩原印刷株式会社遠野事業所
- ④本作り、印刷など
- ⑤遠野→進学のため宮城県へ→遠野で就職

- ①北川 岬さん(中)
- ②土淵町
- ③社会福祉法人とおの松寿会
- ④調理業務
- ⑤秋田県出身→進学のため盛岡へ→東京などで就業→結婚・遠野へ

- ①藤原 紅葉さん(右)
- ②松崎町
- ③岩手東亜DKK株式会社
- ④電極製造と検査
- ⑤矢巾町出身→進学のため一関市へ→遠野で就職



出版社からの依頼を受けて、初校原稿を確認する菊池さん



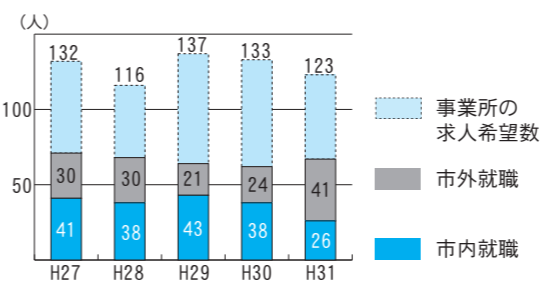
養護老人ホーム長寿の森吉祥園で食事の仕込み作業にあたる北川さん



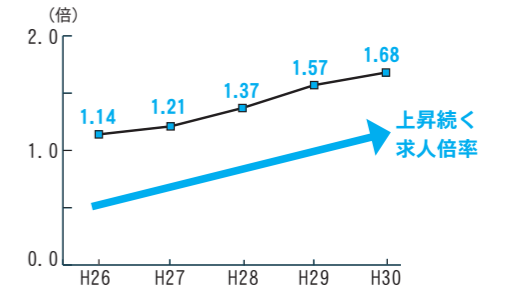
酸やアルカリの測定などに使われる水質計のpH電極を製造する藤原さん

←3人が語った内容は、次のページへ。

市内の高校生就職内定数・事業所求人希望数



市内求人倍率の推移



【遠野の雇用状況】

遠野で働く、暮らす

も楽しめる、静かな夜も遠野の魅力だと思います。

Q 仕事の状況は
華恵／向上心のある職場。みんなに引張られ、私も成長できているように思います。紙の納品とか力作業の時には男性社員が気を遣って優しくしてくれます。

岬／介護現場では人手不足の課題があります。私は調理を担当しているので仕事内容はある程度決まっています。勤務時間も安定しています。前の仕事は顔の見えないお客さんに料理を提供していましたが、今はご利用者さまのことを考えながら作っているのです。ご飯を食べてもらえるのが嬉しいです。

紅葉／採用後は製品の検査を担当することになりました。ガラス加工が好きだったので、戸惑いも。3年くらいで少し飽きたかとも思っていたところ、製品組み立てに異動。検査もできて、モノ作りもできるハイブリット的な存在



岬／私は、結婚を機に夫の故郷、遠野に移住しました。東京に居たときから、夫とは子育てするなら田舎のほうがいいよねと話していた。結婚後、初めて遠野に来たときは、「あ、山だ」という印象。生まれが沿岸なので、緑の多さが印象的でした。あと、虫もちょっと多いかな(笑)。でも抵抗なく遠野に嫁ぎました。

Q 遠野での暮らし
岬／遠野に来てから、前職の経験を生かそうと調理関係の仕事を探しました。ハローワークや夫の親族などの協力もあり、就職先はスムーズに決まりました。出産も経験し、仕事をしている中で、遠野で子育て支援が充実しているなと感じています。学童保育・児童クラブが無料だし、保育料も安い。職場も産休や育休を理解してくれました。子育て用品の買い物も、店同士が近いし、必要な物がある程度揃えられる。仕事をしながら子育てするには住みやすいなと感じています。

Q 遠野の魅力UPに必要なこと
華恵／一人暮らしを考えたことがありますが、遠野の家賃がけっこういい値段で…。

紅葉／遠野の賃貸住宅は世帯向けのイメージ。家を借りて一人て住むには生活が苦しくなってしまう。単身の賃賃があればいいなと思います。

岬／私は、今の生活にも満足しているけど、職場は人手不足の課題があります。やっぱり介護は人手が必要なので。働く人が増えないかなと思います。

華恵／仕事内容や給料だけでなく、休日などプライベートも大切にしたいの思いを耳にします。仕事とプライベートが両立できるような環境づくりも大切かもしれませんね。

思いを語る

遠野で働き暮らす 3人に話を聞きました

※敬称略

Qなぜ遠野に

華恵／高校卒業後、進学のため仙台へ。就職は、できれば地元に戻りたいと思っていましたが、遠野に戻って自分に向いている仕事があるとは限らないので…。でも、若手には帰ろうと思っていました。就職活動をする中、仙台や東京で働くことを考えたこともあったけど、具体的にイメージできなくて。そんな中で、今の勤め先の事業所が遠野にできました。本がずつと好きだったこともあり応募。採用してもらえました。遠野で本を作る仕事ができると思ってもいなかったので、今の会社に出会えて良かったです。

紅葉／私も岩手県内には居たいと思っていました。中学時、理科の授業で物質が変化するの面白くて、一関の学校に進学。化学を専攻しました。授業のなかで「ガラス加工を経験。ガラスの変化や火にあぶるとくっついたり、扱う難しさが面白かったです。ガラス加工ができる仕事を探しましたが、求人のは多くは県外。そんなときに今の職場の求人。就職して遠野に来ました。

岬／私は、結婚を機に夫の故郷、遠野に移住しました。東京に居たときから、夫とは子育てするなら田舎のほうがいいよねと話していた。結婚後、初めて遠野に来たときは、「あ、山だ」という印象。生まれが沿岸なので、緑の多さが印象的でした。あと、虫もちょっと多いかな(笑)。でも抵抗なく遠野に嫁ぎました。

Q 遠野での暮らし
岬／遠野に来てから、前職の経験を生かそうと調理関係の仕事を探しました。ハローワークや夫の親族などの協力もあり、就職先はスムーズに決まりました。出産も経験し、仕事をしている中で、遠野で子育て支援が充実しているなと感じています。学童保育・児童クラブが無料だし、保育料も安い。職場も産休や育休を理解してくれました。子育て用品の買い物も、店同士が近いし、必要な物がある程度揃えられる。仕事をしながら子育てするには住みやすいなと感じています。



紅葉／私は、スーパーで売っている魚が面白いな。内陸部ではあまり見かけない魚が売ってあって。釜石が近いからなのか？トビウオが売ってたときは、「わあー！」って。特別な物を買う時はどこかに行かなくていいけど、食糧とか、平日過ごす分には不便してないです。

岬／遠野は色々なお祭りがありますよ。地元では夏のお祭りは1回とか。一緒にお祭りに行ったり、庭でバーベキューしたり。地域内でも交流がよくある。いろいろな交流があつて、みんな仲良く過ごしているのいいなと思ってます。人との新しい繋がりができて寂しさもなく過ごせています。

華恵／遠野はイベントたくさん。遠野のイベントカレンダーを見ると予定がびっしり。この前、友達を誘ったら、「その日は地域の祭りだからごめん」と断られました(笑)。でも、そういう所も遠野の良さかなと思います。遠野に戻ってきて、良かったなと思



うのは、友達も帰ってきたときに「おかえり」と迎えられること。友人们とは盆と正月の年2回集まりますが、みんなが帰ってくる場所に居られるのが幸せです。

紅葉／私は学生時代に仲良かった友人が北上に居ますが、1時間かからずに会える。地元の矢中にも1時間くらいあれば行けるし、盛岡や北上、釜石など、どこに行くにもだいたい1時間。遠野って、意外と交通の便がいいなと思います。

華恵／街や海に遊びに行くのも1時間くらい。ただ、車がないと大変ですよ。私の職場には、市外出身で車が無い人もいました。夜遅くなったときの買い物は不便もあつたようです。



岬／車は必要ですよ。遠野に来るときは、車の準備をして来ました。でも、夜の遠野は星が凄くキレイ。秋田にいたときはこんなに細かい星を見ることはできなかったですね。車があればドライ

「遠野」でがんばりたいあなたを「応援」します 市奨学金返還支援補助金

市は、市内中小企業等の人材確保と若い世代の活躍を応援するため、市内事業所に就業した対象者に奨学金返還費用を補助しています。

補助を受けるには申請が必要です

詳しくは…

遠野市 奨学金返還 検索
市ホームページで、求人情報も確認できます



■対象者※下記①～④の要件を全て満たす人

- ①40歳未満で遠野市に住所がある
- ②高校や大学、短大、専門学校などで在学中に奨学金の貸与を受け、遅延なく返還している
- ③市税を滞納していない
- ④平成31年4月以降、市内の事業所に就業した
※雇用期間の定めがある就業や自営業、公務員は対象外です

■対象の奨学金

▶日本学生支援機構(第1種・2種奨学金)▶遠野市奨学金▶その他(大学や地方公共団体、公益法人などが実施する奨学金で市が認めるもの※要相談)

■補助額

月12,000円を上限に奨学金返還額の1/2(1,000円未満切り捨て)

■補助対象期間

就業した月または返還開始月から最長20年間
※補助は奨学金の返還が終了する月、40歳に達する月まで

■手続方法

承認を受ける(12月末まで)→交付決定→補助金請求
詳しくは、市ホームページまたは、問い合わせください。

■問い合わせ

市商工労働課(☎62-2111)

岩手県移住支援事業

県内への移住・就業で最大100万円支給

東京一極集中の是正や県内中小企業等の人手不足解消、移住者の経済的負担軽減のため、県も皆さんを応援します。

■対象 東京圏から県内に移住し、①就業②起業した人
(※平成31年4月以降の転入など要件あり)

■支給額 ①最大100万円②最大200万円

■問い合わせ 県定住推進・雇用労働室(☎019-629-5588)
または、市商工労働課(☎62-2111)